第4回農業委員会総会議事録

- 1 招集日 令和6年4月5日（金）
- 2 開会日時及び場所
令和6年4月5日（金） 午後2時00分
雲仙市役所別館3階会議室
- 3 閉会日時 令和6年4月5日（金） 午後2時40分
- 4 委員氏名

(1)出席者（18名）

1番 松尾 茂敏	2番 内田 弘幸	3番 田島 真一	4番 池田 兼三
5番 山崎 正典	6番 本田 浩	7番 草野 英治	8番 中川 實美
9番 徳永 玉義	11番 栄木 正孝	12番 鶴崎 高幸	13番 坂本 博
14番 東 康敬	15番 森崎 茂徳	16番 笠原 勝	17番 小筏 正治
18番 林田 剛	19番 馬場 保		

(2)欠席者（1名）

10番 草野有美子

5 議事に参与した者

事務局長	高木 謙次
次 長	内田 啓輔
参事補	酒井 伸也

6 議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
- 日程第2 議案第14号 農地法第3条第1項の規定による許可申請について
- 日程第3 議案第15号 農地法第5条の規定による許可処分の取消願について
- 日程第4 議案第16号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について
- 日程第5 議案第17号 農業経営基盤強化促進法の規定に基づく農用地利用集積計画の決定について
- 日程第6 議案第18号 農用地利用集積等促進計画（案）について
- 日程第7 報告第3号 非農地通知の発出について

午後2時00分開会

○事務局長（高木 謙次君） 議事開始の前に、議案の取下げをお願いします。議案書5ページ、申請

番号103番です。取下げ理由は、今回申請人の譲渡人が死亡されたためです。

それでは、ただいまから令和6年第4回雲仙市農業委員会総会を開会いたします。

議事進行上発言される場合は、挙手の上、議長が指名をしてからマイクを通して発言をしてください。また、携帯電話は電源をお切りになるかマナーモードに設定くださいますようお願いいたします。

本日は、草野有美子委員から欠席届が提出されております。

なお、本日の出席者は、法の規定による過半数に達しております。会長に開会をお願いいたします。

○議長（馬場 保君） 皆さん、改めましてこんにちは。

何かとまだまだ天候がぐずついで、農作業等々まだまだおありかと思えますけども、ご多用の中、ご参集いただきましてありがとうございます。

それでは、早速、総会のほう進めさせていただきます。

ただいまから、令和6年第4回雲仙市農業委員会総会を開会いたします。

まずは、議決事件の審議を行います。

各委員の協力方よろしくをお願いいたします。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、会議規程第12条の規定により、18番、林田剛委員、1番、松尾茂敏委員、両委員を指名いたします。

それでは、議事に入りたいと思います。

日程第2、議案第14号、農地法第3条第1項の規定による許可申請についてから、日程第7、報告第3号、非農地通知の発出についてまでの議案5件、報告1件となります。

それでは、日程第2、議案第14号、農地法第3条第1項の規定による許可申請について、事務局、議案事項の説明を求めます。

○事務局（酒井 伸也君） 議案書2ページを御覧ください。

〔議案第14号の朗読〕

議案書3ページ、申請番号92番から106番まで、14件の申請がっております。詳しくは別添1を御覧ください。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

それでは、東部調査会長お願いします。

○委員（13番 坂本 博君） 議席番号13番、東部調査会長の坂本です。

東部調査会関係分は、申請番号92番から102番です。

申請番号92番は、市外在住の兄から耕作できないため、市内在住の弟が贈与で譲り受ける案件です。

申請番号93番から95番については、譲受人が同一ですので、一括して審査をお願いします。

この3件については、耕作できなくなった農地を近隣で耕作している譲受人が耕作利便のため、譲り受ける案件です。

申請番号96番は、譲受人の自宅の近隣の農地を耕作利便のため、譲り受ける案件です。

申請番号97番も譲受人の自宅の隣で耕作に便利のため、譲り受ける案件、申請番号98番と99番は、この後の農地法第5条関係で審査いただく申請番号70番の転用関係の残地となる農地で、転用面積を必要最低限で分筆し、農地として活用する譲受人が譲り受ける案件。

申請番号100番は、譲受人が規模拡大のため、取得する案件。

申請番号101番は、譲受人が同居する譲受人へ贈与する案件です。

申請番号102番は、市外在住の譲渡人の農地を隣に住居がある譲受人が耕作利便のため、家庭菜園程度で農業を始めるということで購入する案件です。

申請番号92番から102番について、現地調査並びに協議結果においても、特に問題ありませんでした。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

申請番号92番から102番について、ご質疑がありましたらお願いします。ご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご質疑がないようですので、続きまして、中部調査会長お願いします。

○委員（1番 松尾 茂敏君） 議席番号1番、中部調査会長の松尾です。

中部調査会関係分は、申請番号104番です。

申請番号104番は、譲受人が規模拡大のため譲り受ける案件です。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

それでは、申請番号104番について、ご質疑がありましたらお願いします。ご質疑ございませんか。内田委員。

○委員（2番 内田 弘幸君） 中部調査会のときもちよっと申請書の常時雇用者となっているところ、これ。これ、なかったですか、何か。

○事務局（酒井 伸也君） 事務局からいいですか。

○議長（馬場 保君） 事務局、お願いします。

○事務局（酒井 伸也君） これ、書類をつくられた司法書士さんに確認したところ、協力者ということと書いたということでありまして、ちょっと従業員というふうに書いてしまっているんですけども、

協力をされている方という認識で記載をされているそうなので、削除してもらっても構わないということでした。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。よろしいですか。内田委員。

○委員（2番 内田 弘幸君） はい。

○議長（馬場 保君） それでは、ほかにご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ないようですので、続きまして、西部調査会長お願いします。

○委員（3番 田島 真一君） 議席番号3番、西部調査会長の田島です。

西部調査会関係分は、申請番号105から106番です。

申請番号105番は、規模拡大になってはおりますが、譲渡人が耕作できなくなり、地元委員により買い手を探されておりましたが、金銭面で折り合わない状況でしたが、全ての農地を一括で買い取ってもらえることで話がまとまり、今回の譲受人が承諾された案件です。

106番は、県外在住の所有者が耕作できないため、既に管理している譲受人に譲り渡す案件です。以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

それでは、申請番号105番から106番について、ご質疑がありましたらお願いします。ご質疑ございませんか。笠原委員。

○委員（16番 笠原 勝君） 16番、笠原です。

申請番号105番の土地の売買80万円とか、相当これ、土地がよろしくないような土地なんではないか。

○議長（馬場 保君） 池田委員。

○委員（4番 池田 兼三君） 4番、池田です。

私は近くにいるんで、ちょっと知っている。大体この場所自体もあまりいい場所じゃないわけです。それで、単価的には20万円ぐらいでどうかということで、そういうふうにいたしまして、買うと決めたわけです。そういう条件の悪いところです。

○委員（16番 笠原 勝君） 分かりました。

○議長（馬場 保君） よろしいですか、笠原委員。

ほかになんかご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ほかにご質疑がないようですので、議案第14号、申請番号92番から106番は申請どおり許可することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご異議ないようですので、申請どおり許可することに決定しました。

次に、日程第3、議案第15号、農地法第5条の規定による許可処分取消願について、事務局、議案事項の説明をお願いします。

○事務局（酒井 伸也君） 議案書7ページを御覧ください。

〔議案第15号の朗読〕

議案書8ページ、申請番号1番の1件の申請がっております。詳しくは別添2を御覧ください。
以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

それでは、中部調査会長から案件について説明をお願いいたします。

○委員（1番 松尾 茂敏君） 議席番号1番、中部調査会長の松尾です。

中部調査会関係分は、申請番号1番です。

この案件については、令和6年1月5日付、6雲農委指令第15号で許可していたものです。申請目的は特定条件付売買予定地です。取消理由につきましては、申請地内道路と市道との接道において市道対面地所有者の同意を得ることができず、今後のトラブルを考え、やむなく計画を中止したということです。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

それでは、申請番号1番についてご質疑がありましたらお願いします。ご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご質疑がないようですので、議案第15号、申請番号1番は、願出どおり認めることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご異議ないようですので、願出どおり認めることに決定しました。

次に、日程第4、議案第16号、農地法第5条第1項の規定による許可申請について、事務局、議案事項の説明をお願いします。

○事務局（酒井 伸也君） 議案書9ページを御覧ください。

〔議案第16号の朗読〕

議案書10ページ、申請番号68番から73番の6件の申請がっております。詳しくは別添2を御覧ください。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

それでは、東部調査会長から案件について説明をお願いいたします。

○委員（13番 坂本 博君） 議席番号13番、東部調査会長の坂本です。

東部調査会関係分は、申請番号68番から70番です。

申請番号68番の申請地は、農振白地、国見総合支所から300メートル以内にある農地で第3種農地と判断しました。現地確認でも確認いただいたように、既に現状は農地で使用されておりません。20年以上も前から、地元老人会憩いの場として利用されていたとのことで、追認申請となります。無断転用のままでは、所有者並びに自治会としても現状のままではいけないと思ひ立ち、今回の申請となっております。

続きまして、69番の申請地は、農振白地、土黒土地改良区に隣接している農地で第1種農地と判断しました。しかしながら、転用目的が地元の保育園の園庭及び駐車場としての転用申請で、例外規定の集落接続でその集落になくなくてはならない施設として許可できるものと判断しました。

申請番号70番は、農振白地、10ヘクタール未満の集団の中にある農地で第2種農地と判断しました。申請目的は譲受人が代表取締役を務める会社の事務所移転です。事務所及び駐車場では面積が広すぎるため、必要最低限の面積で分筆し転用するものです。残地は先ほどの農地法第3条で農地として活用されます。許可に関して特に問題ないものと思われます。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

それでは、申請番号68番から70番についてご質疑がありましたらお願いします。ご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ないようですので、続きまして、中部調査会長お願いします。

○委員（1番 松尾 茂敏君） 議席番号1番、中部調査会長の松尾です。

中部調査会関係分は、申請番号71番から72番です。

申請番号71番の申請地は、農振白地、10ヘクタール未満の集団の中にある農地で、第2種農地と判断しました。申請目的は一般個人住宅の一部で、20年以上前に居宅を新築した際に今回申請地を口頭だけで譲り受けたと思ひ込み、宅地として石積を施工してしまったものです。今回、市道拡幅等の測量の際に気づいたもので、今回の追認申請となりました。

続きまして、72番の申請地は農振白地、市役所から500メートル以内にある農地で第2種農地と判断しました。申請目的は駐車場用地です。近隣に住む転用者が自己所有の宅地に駐車場がなく、路上に停めたりして近所迷惑になっていたところ、今回の転用地を譲渡してくれる運びとなり申請されたものです。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

それでは、申請番号71番から72番についてご質疑がありましたらお願いします。ご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ないようですので、続きまして、西部調査会長をお願いします。

○委員（3番 田島 真一君） 議席番号3番、西部調査会長の田島です。

西部調査会関係分は、申請番号73番です。

申請番号73番の申請地は、農振白地、10ヘクタール未満の集団の中にある農地で第2種農地と判断しました。申請目的は駐車場用地です。業務用の大型車両の駐車場が不足していたところ、会社前の申請地を譲り受けることになり、業務上必要な施設であることから、許可に関しても特に問題ないものと思われます。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

それでは、申請番号73番についてご質疑がありましたらお願いします。ご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご質疑がないようですので、議案第16号、申請番号68番から73番は、申請どおり許可することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご異議ないようですので、申請どおり許可することに決定しました。

次に、日程第5、議案第17号、農業経営基盤強化促進法の規定に基づく農用地利用集積計画の決定についてを議題とします。

事務局、議案事項の説明を求めます。

○事務局（酒井 伸也君） 議案書12ページを御覧ください。

〔議案第17号の朗読〕

議案書13ページ、整理番号1番から、議案書101ページ、整理番号167番までです。整理番号1番から13番までは、貸借に係る案件、整理番号14番から18番までは、所有権移転に係る案件、整理番号19番から167番までは、農地中間管理機構に貸し付ける配分先まで決定する一括方式となっております。なお、議案書32ページ、整理番号33番からは、吾妻町の山田原第2土地改良区内の農地の集積関係です。詳しくは別添3を御覧ください。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

議案第17号に対する質疑を行います。

まず、貸借権設定に係る申請番号1番から13番についてご質疑ありませんか。ご質疑ございませ

んか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご質疑がないようですので、次に、所有権移転に係る申請番号14番から18番についてご質疑ありませんか。ご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ないようですので、次に、農地中間管理事業に係る申請番号19番から167番についてご質疑ありませんか。内田委員。

○委員（2番 内田 弘幸君） 議席番号2番、内田です。

ちょっとお尋ねですけど、27ページ、24番ですね、24番の（1）と（2）になっておるんですけど、24番の（1）のほうは使用貸借で、24番の（2）は賃貸借で、25番は同じあれで使用貸借ってなっとつとですけど、なんか土地の何か悪かったなんだして、賃貸借ができんごと何かあれば、分かればちょっと、同じあれで、使用貸借と賃貸借とあって、3反3畝ぐらいのところは使用貸借で、2反4畝が賃貸借で、1反ちょいが使用貸借となっておるもので、同じ人のところを同じ人が借りて、なんか賃貸借と使用貸借あるもんけ、なんか、土地で悪かとしても作らんとは、無理やり作ってくれて言うてあるとか、そこら辺の条件が分かればお願いします。

○議長（馬場 保君） 本田委員。

○委員（6番 本田 浩君） 6番、本田です。

ここの場所は宮田の現在、基盤整備をしている場所ですので、そういう関係で離れたところできてるものですから、そういう状況です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。いいですか。

○委員（2番 内田 弘幸君） はい、分かりました。

○議長（馬場 保君） ほかにご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ほかにご質疑がないようですので、ただいまから採決を行います。

お諮りします。議案第17号は、農業経営基盤強化促進法第18条第3項に適合した適正な計画であると認め、農用地利用集積計画を決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご異議ないようですので、集積計画を決定することとします。

次に、日程第6、議案第18号、農用地利用集積等促進計画（案）についてを議題とします。

事務局、議案事項の説明を求めます。

○事務局（酒井 伸也君） 議案書102ページを御覧ください。

〔議案第18号の朗読〕

議案書103ページ、整理番号1番から3番です。資料は別点3を御覧ください。この議案については、前年まで、中間管理機構を介した貸借のうち、配分先のみを変更する分が上がってきていた案件であります。基盤強化法の改正で配分先のみの変更部分が法の中で削除されていることから、農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第1項の規定により、案として作成し、承認をもらった上で農林部局へ要請するものです。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

議案第18号に対する質疑を行います。ご質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご質疑ないようですので、議案第18号、申請番号1番から3番は、申請どおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご異議ないようですので、申請どおり承認することに決定しました。

次に、日程第7、報告第3号、非農地通知の発出についてを議題とします。

事務局、議案事項の説明を求めます。

○事務局（酒井 伸也君） 議案書105ページを御覧ください。

〔報告第3号の朗読〕

議案書106ページ、受付番号1番から2番です。

この報告については、令和6年2月に個人申請があった農地について、地元委員とともに現地確認後、非農地通知を発出した案件です。

以上です。

○議長（馬場 保君） ありがとうございます。

報告第3号に対する質疑を行います。質問等ありましたらお願いします。東委員。

○委員（14番 東 康敬君） これ、非農地通知の発出について、例えば、農地パトロールで赤判定をするじゃないですか。そうしたときに、非農地通知というのは大体4月、5月ぐらいに発送をするわけ。

○議長（馬場 保君） 事務局。

○事務局（酒井 伸也君） 令和5年度のパトロールの分については、先月の3月22日付で発送をしたところ です。

○委員（14番 東 康敬君） 結局、そこら辺で、例えば、農地パトロールで赤判定があるのはぐっと遅くなるわけですか。今、説明があったように、この個人申請の分は、これ、今出ているのは、私が見に行ったわけですから、すぐ非農地通知の発出ができたわけですか。ここら辺の時間

的な誤差というのはどういう関係でこげんなるわけ。

結局、個人的に申請があればもう、すぐ対応して、すぐ発出ができるという体制なのか。それとも、赤判定はやっぱり全部整備をする中で、時間がかかるからこういう時期になるというのか、そこら辺の事務局の対応というのは時間差がちょっとあるわけですね。そこら辺の説明を。

○事務局（酒井 伸也君） そうですね。今、東委員がおっしゃるとおり、パトロールした分の赤判定した分について、ちょっと書類の整理とか、ちょっと時間を要しまして、個人申請の分については、その都度、一件一件対応ができるので、その都度すぐ、日にちも置かずに対応できるんですけども、一斉の分についてはちょっと時間がかかるというところですね。

○委員（14番 東 康敬君） はい、分かりました。

○議長（馬場 保君） よろしいですか、東委員。

○委員（14番 東 康敬君） はい。

○議長（馬場 保君） ほかにご質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ほかにご質疑がないようですので、報告第2号に対する質疑を終わります。

お諮りします。本総会における議決事件について、その条項、字句、数字、その他、整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（馬場 保君） ご異議なしと認めます。したがって、これらの整理を要するものについては、議長に委任することに決定しました。

これをもちまして、議決事件の審議は全て終了しました。どうもお疲れでございました。

休憩後に農政となります。（「何時まで」と言う者あり）

○事務局（酒井 伸也君） その時計で45分から次の会議を始めたいと思います。

午後2時40分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年 4月 5日

議 長

署名委員

署名委員